

問い合わせ先

総務部政務課制作評価広報室

海上保安報道官 一條正浩

(電話03-3591-6361(代) )

(電話03-3591-9780 )



海上保安庁

平成23年3月11日

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震への対応等について  
(第1報)

平成23年3月11日1900現在

海上保安庁の今回の地震における対応等については、別添のとおり  
です。

## 1. 体制

1450 海上保安庁対策本部設置

第二、三、四、五、十、十一管区海上保安本部対策本部設置

第六、七、九管区海上保安本部対策室設置

1500 第一管区海上保安本部対策本部設置

第八管区海上保安本部対策支援室設置

## 2. 被害状況

大船渡 転覆船1隻(人員不明)

気仙沼 1名漂流

松島 まき網漁船(8名乗船)機関故障

小名浜 着岸中の船舶「コーラルリング」(22名乗りケガなし)浸水救助済み

気仙沼タカハマ 家屋に1名乗って漂流

気仙沼大島瀬戸 3隻漂流(人員数不明)

亘理 荒浜漁港 漂流者有り(人数不明)

## 3. 対応状況

○巡視船艇・航空機により北海道～沖縄県の太平洋側沿岸域被害状況調査  
及び救助活動実施中

○1514 緊急災害対策本部設置に伴い日本海溝型地震動員計画を発動

4. 対応勢力(出動準備中を含む)

巡視船艇 100隻

航空機 23機(固定翼11機、回転翼12機)

特殊救難隊 1隊(6名)

5. 航行警報の発出状況

1501 日本航行警報、NAVTEX警報(「地震発生情報」)

1502 日本航行警報(「津波発生情報」)

1520 日本航行警報(「津波情報」)

1544 日本航行警報(「津波情報」)1530津波警報発令)

6 当庁船艇・航空機・施設等の被害状況

別紙1のとおり

## 1 巡視船艇の被害状況について

## ・ 二管区

宮城くりこま 係留索切れ漂流（無人）、港口付近の塩釜信号所至近において船首を150度に向け右舷に傾斜状態。座礁しているものとみられる。

宮城ざおう 係留索切れ漂流（4名在船）、定係地付近で投錨済み

福島あぶくま乗員避難済み。他船との接触情報（未確認）あり

## 2 航空機・航空基地の被害状況について

## ・ 仙台基地

1600津波一波来襲、職員2階へ避難。基地機能不能。電話不通。

MH907 テールブーム損傷、浸水

MA869（ビーチ350） 浸水

MA854（ビーチ200） 浸水

## 3 施設の被害状況について

## ・ 二管本部庁舎

停電中。1階給水ポンプ停止。5、7階の内部壁に横亀裂  
一般市民の避難受入れ中

## ・ 二管各部署庁舎

青森 停電中。

釜石 電話不通

福島 停電中。1階浸水中

宮古 電話不通

石巻 電話不通

気仙沼 電話不通